

平成 29 年度上半期主な「友交会活動予定」

月	行事	活動内容
4月	総会	活動報告 決算報告他
5月	出前トーク	下之川地区(高齢者施設について)
6月	出前トーク	奥津地区(介護保険について)
	消防訓練	消火器による消火訓練等
7月	親睦旅行	映画鑑賞 シネマ 109 明和
	出前トーク	伊勢路地区(内容未定)
	介護者教室	講演参加
8月	えみ祭り	夏祭り参加
9月	敬老祝賀会	敬老行事参加
	出前トーク	八知地区(内容未定)

環境整備事業は
月2回実施

●法人地域貢献事業●



消防訓練



介護者教室

友交会活動は、「よく学び、よく働き、よく遊ぶ」を合言葉に、地域への「情報発信」や活動を通じた「地域住民のふれあい」を図るなど地域福祉活動を行っています。できる限り地域の皆様に参加して頂きたいと思えます。各地域へ出向きますので、ぜひ声をおかけ下さい。

【法人理念】

利用者の方と職員が、笑みと生きがいのもてる施設づくりを目ざします。また、地域貢献に努め、社会福祉法人としての役割を果たします。

社会福祉法人明光会職員(102名)内訳

平成 29 年 6 月 30 日現在

職種	人数	職種	人数
施設長 統括	2名	介護福祉士	35名
嘱託医師	1名	介護職員	18名
介護支援専門員	4名	事務職員	8名
管理栄養士・栄養士	2名	管理当直員	2名
理学療法士	3名	生活支援	7名
生活相談員	3名	送迎職員	3名
看護師	11名	介護助手	5名

特別養護老人ホーム 笑美の里年齢別職員数

年齢	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
人数	9	20	15	16	42

社会福祉法人明光会 平成 28 年度決算報告

貸借対照表		合計(円)
資産の部	流動資産	126,428,127
	基本財産	563,340,797
	その他の固定資産	398,413,392
	固定資産合計	961,754,189
資産の部合計		1,088,182,316
負債の部	流動負債	52,480,557
	固定負債	181,494,725
負債の部合計		233,975,282
純資産の部	基本金	100,722,290
	国庫補助金等特別積立金	272,747,603
	次期繰越活動収支差額	480,737,141
	(内当期活動収支差額)	(△9,289,719)
純資産の部合計		854,207,034
負債及び純資産の部合計		1,088,182,316

平成 28 年度事業所別稼働率(%)

事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均	
津地域	特養	92.3	88.4	90.1	95.6	93.5	93.5	92.8	92.3	94.6	95.3	95.4	96.9	93.4
	短期	102.9	97.1	96.2	99.7	98.1	101.4	89.7	93.7	90.9	93.9	95.5	95.9	96.3
	通所	76.0	73.4	74.4	80.7	81.1	80.0	86.3	80.5	75.7	78.3	80.2	78.7	78.7
伊賀地域	通所阿保	70.1	74.9	75.1	83.4	84.9	85.5	80.2	86.5	83.8	85.4	82.4	78.4	80.9
	訪問	72.4	77.3	78.5	86.5	88.3	88.4	83.4	89.8	83.8	85.4	82.4	78.4	82.9
	居宅支援	80.0	68.6	77.1	62.9	82.9	77.1	80.0	48.6	38.6	38.6	41.4	38.6	61.2
	サ高住	84.2	81.5	81.5	78.9	81.5	81.5	86.8	92.1	84.2	89.4	86.8	86.8	84.6
平成 29 年 2 月、名張市桔梗が丘に新しい事業として「笑美の里リハビリデイサービスセンター桔梗が丘」がオープンしました。											通所桔梗	6.4	9.6	8.5%



明光会たより

第15巻 第2号
(通巻28号)
平成29年7月10日
発行
社会福祉法人 明光会
津市美杉町八知 729-1
TEL 059-272-8800



社会福祉法人 明光会
伊賀事業部統括
理学療法士 東 雄大

暑中お見舞い
申し上げます



平素は、法人運営に対しまして多大なご理解とご協力を賜り誠に有難うございます。

伊賀市に「サービス付き高齢者向け住宅笑みの森」を開設し、一年七か月が経過した現在、入居者の方の「機能訓練」の重要性を実感しております。

今年の二月には名張市に「リハビリデイサービスセンター 桔梗が丘」を開設し、入居者の方もご利用して頂き、身体機能の向上や生活の意欲等効果を上げております。

ご利用者は、入居者の方以外に、名張市や伊賀市の方が多く、平均年齢は八〇歳で、男性が女性の二倍となっております。

一般のデイサービスの場合は、レスパイト（ご家族の休息等）が多いのですが、リハビリデイサービスは、自ら意欲的に、理学療法士や看護師、生活相談員等専門職のいるリハビリを求めて来られる方が多いのが特徴です。

来年には、介護保険制度の改正があり、機能訓練への取り組みが見直され、今後更に機能訓練へのニーズの高まりが予想されます。

その背景として、今後益々増大する社会保険料や介護保険料抑制のため、国は要介護状態の重度化を防ぎ、軽度のうちから機能訓練を積極的に推進する、「予防医学」としての観点から重度化を防ぐことを目的としています。

リハビリの世界では、一般的に回復するのに「一日安静臥床すると一週間」、「一週間で一か月」、「一か月で一年」と言われています。

これは若年者も含めた期間ですが、高齢者に限定すると更なる延長が予想されます。

人間は、一日のうち約三分の二の時間は「起きる・立つ・座る・動く」で生活をしています。言い換えると、約三分の二の時間は重力による荷重がかかっていることとなります。

その生活から逸脱すると、日常生活が不活発となり、心身機能の低下をもたらすこととなります。

これを「廃用性症候群」と言います。廃用性症候群は、筋骨格系や循環・呼吸器系、内分泌・代謝系、精神系等様々な症状が多岐に表れ

日常生活自立度を低下させます。高齢者の日常では、老化、疾患、興味、関心、役割、意欲等、生活全般を考える必要があります。これらが疎かになると、臥床時間や座位時間が長くなり、体力や意欲の低下を引き起こし、更に廃用状態を強める結果となります。つまり疾患の憎悪、新たな疾患の発症、家での閉じこもり等悪循環につながります。

廃用性症候群を予防するには、定期的な適度の運動や外出する機会を設けることが非常に重要となります。また、外出は社会との接点や交流で精神的な安定や満足後につながります。

デイサービスを利用すると、起床時間や食事も規則正しくなり、身体を整え、持ち物を確認する等、自然に身体や頭を使います。

また、自分の目標やレクリエーション等ワクワクすることもあり、友人もできます。これからも積極的なご利用をお勧め致します。

現在、日本の平均寿命は、男性八十一歳、女性八十七歳です。

今後も平均寿命は延びると考えられており、二十六十年には女性の平均寿命は約九十歳になるといわれております。

今、関心が高まっているのは「健康寿命」です。健康寿命とは、「健康上の問題で日常生活を制限されることなく生活できる期間」と定義されています。

現在の健康寿命は、男性で70.4歳、女性で73.6歳です。男性は、約十一年、女性は約十三年と平均寿命とかなり差があり、この差は日常生活に制限のある「不健康な期間」を意味します。

健康寿命を伸ばすには、バランスの良い食事やストレスの解消、前向きな思考等色々ありますが、運動（定期的・継続的に身体を動かす）が大事です。

老化には、個人差、時代差、男女差がありますが、こうした平均寿命と健康寿命との差が縮まれば、医療費や介護給付費、社会保障費負担を削減することができます。また、何より「個人の生活の質」が保たれます。

皆様も元気で長生きを目指し、これからの「健康寿命」を念頭においた取り組みを始めてみませんか？

【リハビリデイサービスセンター 桔梗が丘】



- ・レッグプレス
- ・レッグエクステンション